

令和6年度 音楽 1学年 年間指導(評価)計画							
			教科名 (音楽)				
学期	月	単元	学習目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価場面 評価方法
一 二	4	歌唱	教材名「基本の発声」(以後継続) ◎ハーモニーの美しさを感じ、歌声で明るく挨拶をかわす。 ◎自分の持っている声を知る。 ◎呼吸法、ロングトーン ◎「あくびの歌」	○	○	○	☆しっかりと口を開き明るい歌声を出そうと意欲的に試みている。 ☆歌う姿勢や発声法を体得し、響きのある声で歌おうとしている。 ☆自分の歌声の良さを知り、それを活かして歌おうとしている。
			教材名「校歌」(以後継続) ◎校歌の歌詞の意味を学ぶ。 ◎メロディーを覚える。	○	○	○	☆新しく習う母校の校歌に興味を持とうとしている。 ☆歌詞の内容を考えながら表現しようとしている。 ☆正しいメロディー・歌詞で歌うことができる。 ☆これまでに学んだ発声を生かして歌唱する。
		リズム	教材名「リズム」 ◎リズムを覚え、演奏に生かせるようにする。	○	○	○	☆リズムを正しく覚えている。
	5	楽典	教材名「音楽の諸記号」 ◎音楽の諸記号を覚え、演奏に生かせるようにする。	○		○	☆ 諸記号を正しく覚えている。
		鑑賞	教材「魔王」 ◎劇的な内容や歌唱表現の豊かさを感じ取る。 ◎作曲家やその作品について理解する。 ◎プロの歌唱力をマネして、合唱活動に取り入れようとしている。	○	○	○	☆鑑賞に集中し、興味を持とうとしている。 ☆詩の意味を理解し、物語全体の流れを理解している。 ☆西洋の音楽や歴史に興味を持ち、理解できている。 ☆プロの歌唱力をマネして、合唱活動に取り入れようとしている。
	6	歌唱 鑑賞	教材名「明日の空へ」 ◎自然で明るい歌声の響きを作る。 ◎歌詞や強弱記号などに注意して表現する。	○	○	○	☆しっかりと口を開き、明るい歌声を出そうと意欲的に試みている ☆歌う姿勢や発声法を習得し、響きのある声で歌おうとしている。 ☆正しいメロディー(歌詞含)で歌うことができる。
		楽典	教材名「音楽の諸記号」 ◎音楽の諸記号を覚え、演奏に生かせるようにする。	○	○	○	☆ 諸記号を正しく覚えている。
	6 7 8 9 10	歌唱 鑑賞	教材「合唱コンクール曲」 ◎自分たちの歌うクラス曲を真剣に選曲する。 ◎歌う姿勢を身につけ、伸びやかな響きのある声を出す。 ◎他パートにつられず、ハーモニーを作る。 ◎曲の特性を活かし、表現を工夫して美しい合唱に仕上げる。 ◎歌心を養い、仲間と共に歌う楽しさを感じる。	○	○	○	☆真剣に選曲をしている。 ☆合唱を通して強調性が身に付いている。 ☆表現や強弱に気をつけて歌っている。 ☆正しい姿勢で伸びやかな声を出しているか。 ☆他のパートにつられずに、しっかりと歌えている。
	9	鑑賞	教材名「春 第一章」 ◎曲を聴き、ソネットを元に曲の変化を感じ取る。 ◎演奏形態や使用されている楽器、作曲家について学習する。	○	○	○	☆クラシックに興味を持ち、曲想の移り変わりを感じ取ろうとしている。 ☆プリントを仕上げ、提出している。 ☆ソネットを元に、楽曲が表現している情景や気分を、想像豊かに感じ取っている。
		鑑賞	教材「能」「狂言」 ◎声や楽器の音色、旋律の特徴に注目しながら、能の音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ◎音楽、舞踊、演劇などが一体となった能のよさや美しさを味わって鑑賞する。	○	○	○	☆言葉の抑揚に注目しながら、鑑賞している。 ☆楽器の音色や速度的変化を感じ取りながら、鑑賞している。 ☆登場人物の心情と、音楽・舞踊・演劇とかわらせながら、鑑賞している。
			教材名「映画音楽」 ◎音楽から得られるイメージと、音楽の特徴とのかかわりに注目しながら聞く。	○	○	○	☆音楽の要素と曲想を結び付けながら、聴くことができる。
		鑑賞	教材「日本の民謡」 ◎声の音色、節回しやリズムの特徴などに気を付けながら、日本の民謡のよさや美しさを味わって聴く。 ◎民謡の背景や役割を理解しながら聴く。	○	○	○	☆声の音色、節回しやリズムの特徴などに気を付けながら、日本の民謡のよさや美しさを味わって聴くことができる。 ☆民謡の背景や役割を理解しながら聴くことができる。
			教材「赤とんぼ」・クラス内発表会 ◎詩を理解し、日本の情感を味わい豊かに表現する。 ◎曲にふさわしい強弱記号を工夫して楽譜に書きこむことができる。 ◎グループで協力し合い、表現及び歌唱力の向上に励むことができる。 ◎表現力及び歌唱力を高め、他の演奏を聴きながら、他のグループの表現の工夫に気づく。	○	○	○	☆日本のメロディーに親しみや興味を持っている。 ☆作詞・作曲家の意図を解釈しようとし、その表現の工夫に努めている。 ☆強弱を工夫し表現豊かに演奏することができる。 ☆グループで協力し合い、表現力及び歌唱力の向上に努めている。 ☆表現力及び歌唱力を高め、他の演奏を聴きながら、他のグループの表現の工夫に気づくことができる。
	12	楽典	教材名「音楽の諸記号」 ◎音楽の諸記号を覚え、演奏に生かせるようにする。	○		○	☆ 諸記号を正しく覚えている。
		歌唱	教材名「式歌」 ◎歌唱の姿勢や発声の方法を学び体全体で表現する。 ◎拍の流れによって明るい声で歌う。	○	○	○	☆しっかりと口を開き明るい歌声を出そうと意欲的に試みている。 ☆歌う姿勢や発声法を体得し、響きのある声で歌おうとしている。
三	1 2 3	器楽 鑑賞 創作	教材「ウクレレ」 ◎ウクレレについて学習する。ウクレレの歴史や構造・姿勢や構えについて理解する ◎ウクレレの基本的奏法を学ぶ。 ◎ウクレレの音色を味わう。 ◎コード進行を理解し、演奏する。 ◎曲想にあったリズムを創作する。	○	○	○	☆友達と協力し、意欲的に取り組んでいる。 ☆ウクレレの音色を味わい、楽器の特徴を理解している。 ☆指示された練習の仕方を守り、ウクレレの基本的奏法を習得している。 ☆コード進行を理解しながら、演奏することができる。 ☆イメージを大切にリズム創作することができる。
	1	器楽	教材「さくらさくら」(等)アクティブラーニング ◎箏について学習する。箏の歴史や構造・姿勢や構えについて理解する ◎箏の基本的奏法を学ぶ。 ◎和楽器の音色を味わう。	○	○	○	☆2人ペアで練習する際、協力し、意欲的に取り組んでいる。 ☆和楽器の音色を味わい、箏の特徴を理解している。 ☆指示された練習の仕方を守り、箏の基本的奏法を習得している。
	2	鑑賞	教材「六段の調」 ◎楽器の音色、旋律の特徴、速度的変化などに気をつけながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴く。	○	○	○	☆楽器の音色、旋律の特徴、速度的変化などに気をつけながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴いている。
	3	歌唱	教材名「式歌」 ◎歌唱の姿勢や発声の方法を学び体全体で表現する。 ◎拍の流れによって明るい声で歌う。	○	○	○	☆しっかりと口を開き明るい歌声を出そうと意欲的に試みている。 ☆歌う姿勢や発声法を体得し、響きのある声で歌おうとしている。